

令和3年度 学校評価について

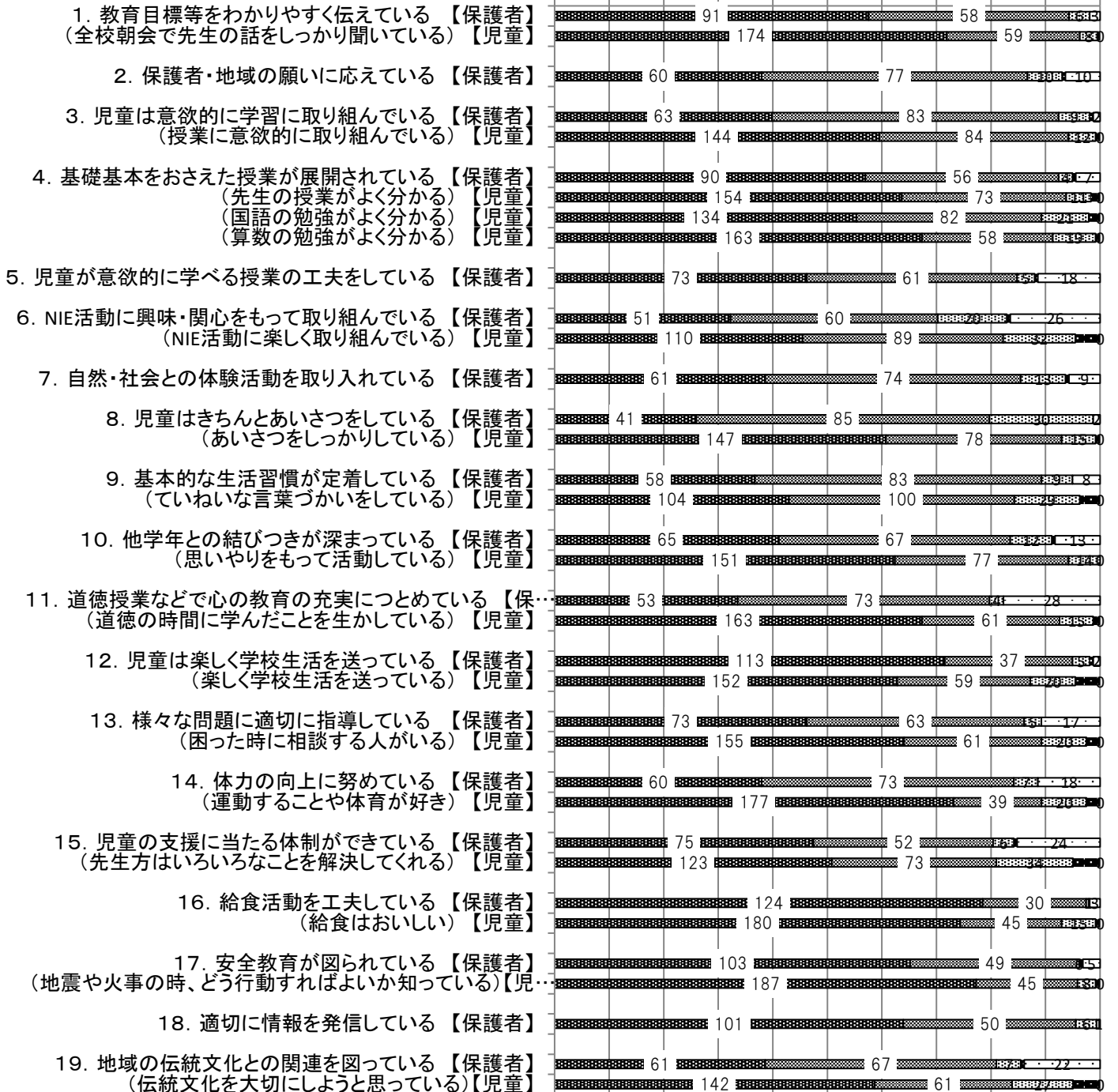
令和4年1月11日
 北区立王子第二小学校
 校長 江口 千穂

昨年度に引き続き学校の様子を見ていただく機会が少なく、回答しにくい設問もあったかと思えます。また、今年度は初めての Web でのアンケートとなりご面倒をおかけした場面もありました。それにもかかわらず多くの方にご回答いただくことができました。ご協力ありがとうございました。

学校教育目標の達成に向けて日々取り組んでおります。各内容の達成状況について、児童・保護者の皆様のアンケート結果と考察、いただいた質問やご要望への改善策等について報告いたします。

令和3年度 学校評価アンケート集計

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



十分当てはまる
 まあ当てはまる
 やや当てはまらない
 全く当てはまらない
 よくわからない

【全体として】

保護者の皆様に回答をいただいた評価の「十分あてはまる」と「ややあてはまる」の肯定的な回答の合計の割合が各質問項目において、概ね80%を超えています。6「NIE活動」に関しては昨年度に比べ11%減少し71%でした。わからないとの回答も16%と高いので、今後さらに児童の主体的な活動になるようにしていくとともに、保護者の皆様に活動内容が伝わるように工夫していきます。また14「体力向上」に関しては昨年度と比較し肯定的な回答が8%減少しています。コロナ禍で体育の授業や体育的行事が制限されており、体力の低下を心配する保護者の方の声もあります。学校としても大変懸念しており、さらなる対策を検討しています。8「挨拶・礼儀」に関しては昨年度に比べ7%上昇し80%でした。今度とも地域・家庭と連携しながら、あいさつ運動などを通して他者への理解を深め、自立した行動力を高めていきたいと考えます。

また、「わからない」との回答が15%以上だったのは6「NIE」、11「道徳教育」、15「個に応じた指導」でした。学校公開が満足に実施できず、授業の様子を見ていただく機会が少なかったことも一因と考えます。来年度は土曜公開等で見ていただいたり、おたより等でさらに発信したりできるように工夫していきます。

児童のアンケートでは全ての設問で肯定的な回答が80%を超えています。昨年度に比べ15「生活指導」の項目で肯定的な回答が13%減少しています。今後も教師が児童の話をじっくりと聴き、問題に対応していくとともに、児童が主体的に行動できるような指導を工夫していきます。4「学習活動」の算数の勉強については肯定的な回答が5%増加、11「道徳授業」に関して道徳の時間に学んだことを生かしていると回答した児童が4%増加し共に肯定的な回答が90%以上に上昇しました。引き続き分かりやすい丁寧な授業を目指していきます。

【自由意見より】

保護者の皆様からご意見を多数お寄せいただきました。学校への期待や励ましの声もたくさん頂戴しました。

- ・学習面生活面ともに細かく指導してくれるので安心して学校生活を任せられる。
- ・時間を守ることや人への思いやり、学ぶことの意欲が育まれている。
- ・ICTを取り入れた授業で充実している。
- ・いつも楽しく学校へ通っているので親として安心している。
- ・制限がある中でも安全を優先させながら楽しい学校生活や行事を行う工夫をしている。
- ・学級だより等で、子供たちの楽しそうな様子がわかり、楽しく読んでいる。
- ・コロナ禍でも、様々な配慮や工夫をしながら、子供たちが楽しく安全に過ごせるようにしている。
- ・子どもたちのことを第一に考えている。
- ・自主的に意欲的に学習できるように工夫してくれて感謝している。
- ・気持ちの優しい児童が多いと感じている。お互い助け合うなど、居心地の良い温かい雰囲気を感じた。

といった声をお寄せいただき教職員一同感謝し、今後の教育活動のさらなる充実に向けまい進する所存です。ありがとうございます。

以下、質問やご要望についての学校の方針や考え等についてお伝えします。

地域や伝統に触れる、国際理解

○ 対面可能となったら、地域や伝統に触れる機会をより充実させてほしい。

→コロナ禍、北区教育委員会の指針で、外部の講師等を学校に呼ぶことができませんでした。感染症の状況が大分落ち着いてきたので、区の指針と照らし合わせて、可能な体験活動を順次取り入れていきます。

欠席の連絡、学校便り学年便りのオンライン配信について

- 宿題のプリントや学校・学年通信の配信、連絡帳の機能などを保護者用まなびポケットで活用が進むことを期待している。

→1人1台クロームブックの配布によって、今回学校評価アンケートをwebで実施させていただきました。欠席の連絡、宿題の配信等、今後可能なことを進めていけるよう今後検討していきます。学校便り、学年便り等、プリント類をなくしてペーパーレス化という考え方もあります。ただ、自宅にPCがない方、プリンターがない方も少なからずいらっしゃるので、今後何がwebでの閲覧が可能で、何をプリント配布するかを考えつつ、進めていきます。

SNSの使い方、スキル、モラル等の指導について

- 「SNS疲れ」やその他SNSによる人間関係のトラブルを回避するためには児童への直接の指導が必要。学校でも児童へのSNS関連の細やかな指導をしてほしい。

SNSの使い方、スキル、情報モラルについては社会的にも大きな課題です。学校としましては、高学年でセーフティ教室を行っています。全校で子どもたちが安全に生活できるよう学級指導、個別指導を行ってまいります。ご家庭でもご家庭のルール等についてお子さんと話し合っただけだと嬉しいです。

土曜授業の学校公開について

- コロナ禍で学校公開が少ないことが残念。

→北区全校学校公開は区の指針により9月まで中止となっていました。本校では10月に一部公開しました。11月は全校でこどもまつりだったので、密になることを避け公開はありませんでした。12月は音楽会でした。現況では、1月からはマスク着用、検温、手指の消毒等の感染予防を行いながら、通常公開できるかと考えています。(マスク着用、検温、手指の消毒等は続けますが)

子どもたちの体力低下について

- 全体的に子どもたちの体力がないと感じている。コロナ禍でももう少し運動ができる環境が増えるとよい。

→体力テストの結果を見ると、本校の児童の体力が低下していることがうかがえます。学校でも把握しており、コロナ禍でも可能な取り組みを少しずつ再開しているところです。近所を少し走ってみる、一緒に縄跳びをしてみる等、ご家庭でも一緒に取り組んでいただくと嬉しいです。

運動会について

- あと少しで緊急事態宣言が解除される時期だったので、以降の土曜授業を組み換えるなどして保護者の生観覧が可能な仕組みを検討できたのでは。

- オンライン配信になったのは良かったが、誰が誰だかわからない状況もあった。

→運動会はできるだけリアルタイムでお見せしたかったので、You tubeでのライブ配信になりました。画面が小さく、見づらかったかところもあったかと思います。各ご家庭でお子さんの応援や励ましをいただきありがとうございました。10/1から緊急事態宣言が解除になりましたが、10/5岩井日帰り旅行(5年) 10/6友禅染体験(4年) 10/7全校写生会 10/8 1学期終業式 10/12 2学期始業式 10/16土曜授業でのセーフティ教室 10/22全校遠足 10/26演劇鑑賞教室と、行事が続いて予定されていた。気温が下がる11月の実施は厳しかったので、予定通り9月末の実施にしました。ご理解いただくと幸いです。

英語活動について

- 英語活動をゲーム的なものからレベルアップさせて、英語で簡単なコミュニケーションをとる活動を増やしてほしい。

→英語活動、英語の時間においてはゲームやチャンツ、歌や活動を通して、英語でのコミュニケーションに必要な、言葉やスキルを学習しています。実際に、学習した言葉やスキルを使って友達同士、子どもとALT、子どもと担任でコミュニケーションをとる活動にも取り組んでいます。さらに、高学年では、アルファベットを練習したり、簡単な言葉をアルファベットで書いたりする活動にも取り組んでいます。

通知表の表記について

- 通知表では、学校生活の中で子どもの良いところを沢山見つけて評価いただきとてもありがたい。プラス面ばかりでなく注意すべき点等もきっちり書いてほしい。

→それぞれの児童が頑張ったところ、よいところを中心に通知表では保護者に伝えるようにしています。個人面談でお話しし、共有した子どもたちの課題についても、その後、どう変わったか、どのように努力をしているか、通知表で保護者に伝えていくように、全校でも共通理解をしました。

服装について

- 標準服を着ることについて、運用はもう少し柔軟にしてほしい。

→コロナ禍の現在、暖房をつけても教室の窓を一部開けている状況です。そのため、白シャツの上にセーター、トレーナー等の着用はOKになっています。また、寒いときは標準服の上に防寒着を着てくることもOKになっています。ご不明な点は学校にお問い合わせください。

登校班について

- 登校班の人数が多く、班編成で登校する良い面が半減している。
- 登校班の責任範囲はどこまでかを知りたい。何かあった場合、担当の保護者が責任を問われることもあるのかと心配になります。
- あいさつができるともっとよい。

→登校班編成については住んでいる地域によって、人数や学年の偏りが生じているところもあります。PTA 渉外委員の皆様と協力し、次年度からの改善を図ってまいります。担当される保護者が責任を負うのではなく、子ども達とともに安全に登校できるよう見守りをお願いしている現状があります。子ども達の安全を守るため登校時に保護者に協力いただいていることに感謝しております。土曜授業のある日は王二小オヤジ会の「交通安全見守り隊」も子ども達の登校を見守ってくださっています。これからもご協力をよろしくお願いいたします。朝、集合場所に集まったときは、気持ちのよいあいさつができるよう学校でも指導してまいります。ご家庭においてもお子さんにあいさつの大切さについてお話してください。

避難訓練時のヘルメットについて

- 教職員はヘルメットを使用するのに、児童は防災頭巾なのはなぜか。

→地震や火事などの災害発生時は、子どもの命を最優先に考えた行動をとります。そのために月1回避難訓練をしています。ヘルメットは置き場や管理上の課題もあり、現在は児童分準備することは考えていません。安全教育の重要性を十分理解し、今後も指導を続けてまいります。